

### 基本情報

- 本社・微生物研究拠点 : 愛知県名古屋市
- 研究農園 : 愛知県刈谷市
- 高機能バイオ炭量産プラント : 愛知県豊橋市
- 東京拠点 (非登記) : 東京都大手町 (AgLab)
- 従業員数 : 70名(うち30名がパート, 業務委託など)
- 資本金 : 1億円
- 資金調達 : 総額10億円
- 主要株主 : BeyondNextVentures, 三菱UFJキャピタル, 東邦ガス 他

### 主な商材



高機能バイオ炭



高機能バイオ炭  
プラント関連



GHG削減  
ソリューション

### 主な調達, プログラム採択事例



資金調達 累計10億円



SBIRフェーズ3  
約12.5億で採択



各種受賞採択



農水省みどり法基盤確立  
認定事業者採択



豊橋市との連携協定

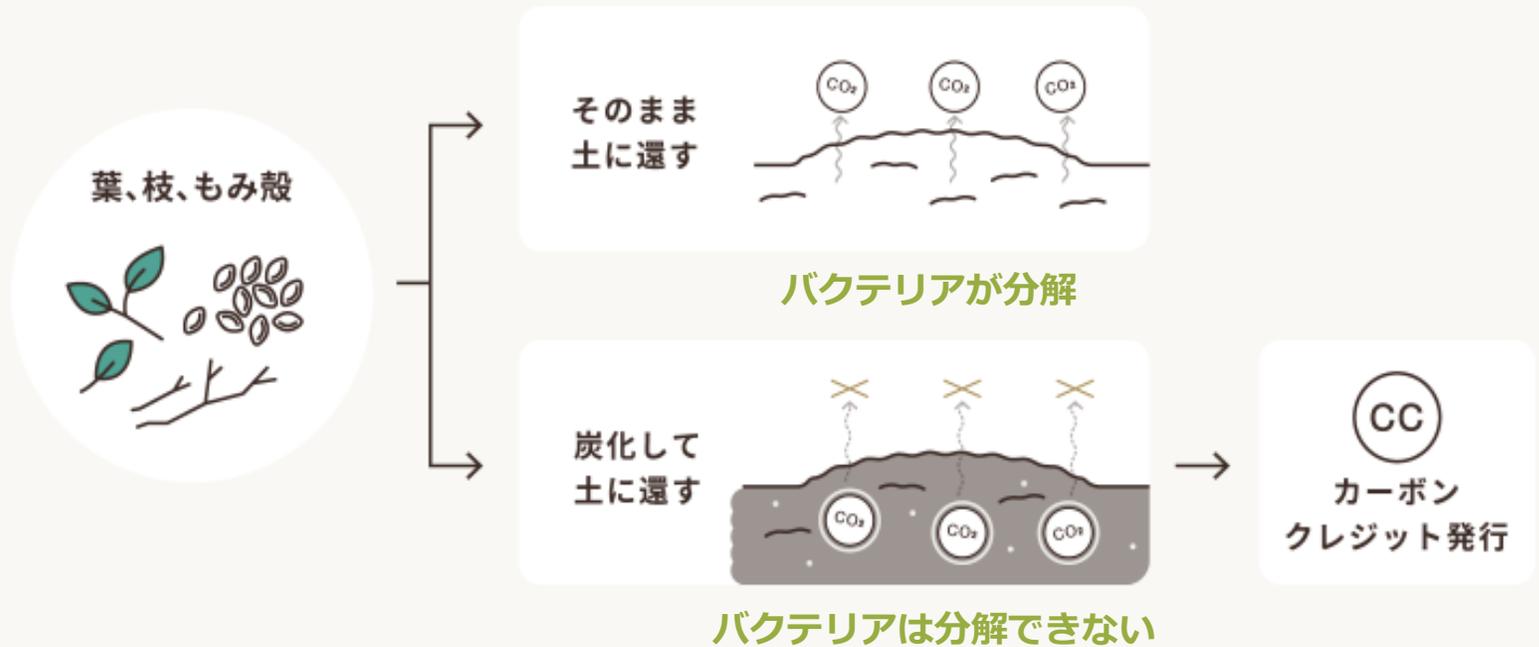


'22.5 JAアクセラ  
(優秀賞受賞)

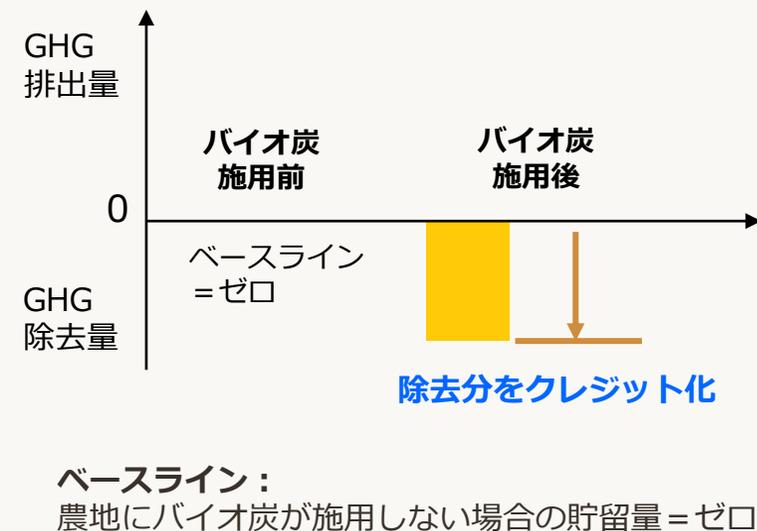
## バイオ炭の農地施用（J-クレジット方法論：AG-004）

バイオ炭を農地土壌へ施用することで、難分解性の炭素を土壌に貯留し、大気中の温室効果ガスを削減

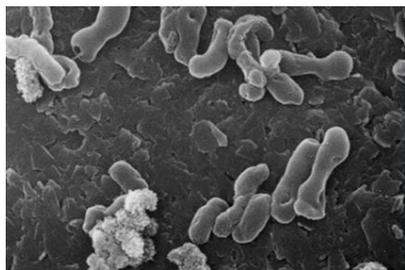
### 方法論の概要



### 削減ロジック



ローカルエリアですべて循環



土壌微生物



未利用バイオマスの炭



有機肥料



高機能バイオ炭



土壌に還元



高機能バイオ炭“宙炭”

- ✓ 土壌健康状態の改善、農地の生産性向上
- ✓ 地域バイオマスを活用し化石資源を代替
- ✓ 食料生産システム由来のGHG排出を低減

高機能バイオ炭“宙炭”の製造と農地利用により、慣行農業から有機農業へ転換する際の農家の経済的デメリットを解消し、みどりの食料システム法やバイオマス利活用推進基本法の目標達成に寄与することが可能

## 農家目線

## バイオマス排出事業者目線

1 土づくり期間の大幅短縮

2 有機肥料転換で収量向上

3 耐病性向上による農薬削減

4 バイオマスのアップサイクル

5 CO2の貯留



通常5年の土づくり  
堆肥利用で時間をかけた  
菌叢構築が必要

化学肥料から有機肥料への  
転換で**平均33%収量減**

作物を連続して作ることによる  
土壌障害を避けるため、**農薬を利用**

各地の活用されていない  
**バイオマスは焼却/埋立**

従来農業では**GHGを排出、  
貯留する手段がほぼない**

**わずか1か月に短縮**  
高機能バイオ炭内に良質な  
菌叢を構築

化学肥料の一部・全部を有  
機肥料に置き換え、  
**20~70%の収量向上実現**

高機能バイオ炭の微生物機  
能により、**土壌病害の繁殖  
を抑制**（※農薬機能ではない）

原料として活用、**地域の  
農地に還元し地域特化での  
炭素循環を実現**

農地への炭素貯留を実現、  
**1haあたり10t-CO2の効果**

弊社のJクレジットをご購入いただくことで、

「生産者の支援」「高品質クレジットの入手」「地産地消による地域貢献」に貢献できます

## TOWING産クレジットの3つの特徴

### 生産者の支援



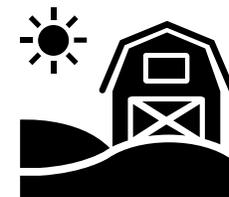
- **クレジット売却益の一部を生産者へ還元**
- クレジット購入を通じて**環境型農業の生産者を支援**

### 高品質クレジット



- バイオ炭クレジットは、大気中のCO2を直接減らす**除去系クレジット**に該当
- 省エネ設備等をはじめとした**削減系クレジットより高品質**

### 地産地消による地域貢献



- **地域産クレジットの購入で地域の脱炭素へ貢献**
- 全国のプロジェクトから、ニーズに合致する地域で創出されたクレジットを販売